

軍の「強制」認める

一編
93

韓 国 人 慰 安 婦 連 行 政 府 あ す に も 報 告 書

政府は、日韓両国の懸案となつてゐる韓国人従軍慰安婦問題に關し、「戦時下において、朝鮮人が旧日本軍により全般的に、その意思に反し、強制的な雰囲気の中で慰安婦として連行された韓国人元慰安婦十六人に対する聞き取り調査を含む一連の政府調査の結果をうけたもので、政府が事実上、「強制」の存在を認めなければ、調査を続行すべきだとの立場を崩さなかつたため、「強制性」の有無の認定が最大の焦点となつてきた。

政府は、昨年七月の一回目の政府調査発表以降も、国内での調査を続行。当初、難色を示していた韓国での元慰安婦らに対する聞き取り調査も実施した。その結果、政府としても、直接的表現を微妙に避けながらも、「誠意」（政府筋）を示すことになつたものだ。